



社会福祉法人 御前崎厚生会
 特別養護老人ホーム 灯光園
 電話 (0548)63-3729(代表)
 FAX 63-4131
 灯光園デイサービスセンター
 63-6002
 灯光園在宅介護支援センター
 63-5116
 灯光園居宅介護支援事業所
 63-5115



春に

施設長 澤島 久美子

桜の便りが聞こえるころになりました。卒業式と入学式の区切りの時期です。灯光園でも職員の異動がありますが、お年寄りの生活は、大きな事件もなく流れています。

取り立てて変化のない生活なので小さなイベントでもお楽しみです。特に食べ物が関わると幸せです。

お料理クラブのおやつ作りがその一つ。今月はぼたもちです。四、五人のお年寄りで一〇〇個作ります。お皿に十個ずつ載せて、各ユニットに配ります。

給食の職員の売店も月に一回。今回はきんつばを作ってくれました。

今日は職員有志が屋台を使っておやつ販売。今回はシュークリームです。美味しいおやつに皆さんにっこりです。

食欲の春？です。

ユニットケアって？

施設長 澤島久美子

歳をとって施設に入りたいと

希望する人がどのくらいいるでしょうか。病気をして体が自由に動けなくなったりしても、人は誰もが自分が長く慣れ親しんだ自宅で生活したいと思っています。しかし介護が必要になった時、いろいろな事情で施設に入らなければならぬことも多くあります。

これまでの施設は四人部屋が多く、他人と一緒に起床し、食事を食べ、入浴し、就寝するという、施設の日課に合わせた生活を入居者に強いていました。排泄（おむつ交換）までもが一斉に行われていました。

そんな生活を続けるとたいいていの人は、そこでの生活を受け入れるために、自分の今までの生活をあきらめ、生活への意欲をなくし、自分が自分らしく生きていくこともあきらめてしま

います。長く生きてきた最後の生活があきらめを中心としたものになってしまふのだとしたら、それはとても寂しく、悲しく、情けないことです。

ユニットケアが目指す介護は、施設へ入居することになっても、家庭に近い環境で個人の自由が守られ、一人ひとりの尊厳が守られる生活を保障することです。情けない、悲しい、寂しい思いを入居者が感じないような援助をします。

灯光園では、平成十三年頃から新しい施設の建設を考え始め、そのころからユニットケアを意識してきました。個別ケア、尊厳、生活リズムなどのキーワードがありました。先進施設に見学に行くと、おしゃれな外観やこだわった建物の中は、時間がゆっくりと流れ、入居者が穏やかに生活をしていました。職員も物静かで、大きな声を出す人はいませんでした。一人ひとりの入居者はきちんと洋服を着こなし、笑顔が多くあり、満たさ

れた表情をしていました。同じ介護保険法の中で運営されている施設だと思えば、灯光園を何とかしようと思っていました。

落ち着いた生活ができるよう入居者と職員の集団を小さくします。十人の入居者に対し六人くらいの職員がローテーションを組んで生活を支えます。二四時間三六五日の安心です。

新施設で、それぞれが、家での生活に近い生活ができるよう、最期までその人らしい人生を送ることができるよう、灯光園のユニットケアは十年前に始まりました。



ふだんをプレミアムに

歯科衛生士 鈴木 美穂

三月七日横浜市で行われた「ユニットケア研修フォーラム」へ参加してきました。

『ふだんをプレミアムに！』ユニットケア』というテーマのもと、ユニットケアの基本から食事、排泄等について分科会に分かれて勉強しました。

施設は利用者の家であり、職員は勤務している八時間お邪魔しているだけ。入所した利用者が自分の住まいと思えるような環境を作っていくことが必要です。

そして、大切なことは利用者本位の生活であり、自分の好きな時間に寝起きし、食事し、排泄するということです。自宅で過ごしていた時のように、利用者一人一人の暮らしを継続するお手伝いを、私たち職員がさせていただきます。

灯光園デイサービスへ行くこう①

春に向かつて

灯光園デイサービスセンター
介護士 楠田 勝子

梅が咲き、桜の便りが聞かれる頃となりました。「浜岡砂丘のカワズザクラがぼちぼち咲き始めたよ。見に行きたいのう。」と利用者さんが話しています。桜と聞いただけでウキウキします。みなさんはいかがですか。

さて、6回シリーズで灯光園デイサービスの自慢？を披露します。自慢話は聞きたくないものですがおつきあいください。

灯光園デイサービスを利用してくれる方は85人います。一日の利用はおよそ34人。わいわいがやがや、この活気はすごいものです。あちらこちらで笑声が聞かれます。家に居る時とは違う多くの刺激がデイにはあります。「デイの日は疲れてぐっすり眠れる」を目指しています。灯光園デイサービスはグループで過ごす「海」「風」「光」の

それぞれの部屋があります。落ち着いた静かな環境が必要な方にはいつもの場所、顔見知りの職員で過ごしていただいています。利用者さんの好みに添いながら最適なデイサービスづくりをしています。

高齢者の一番の願いは「健康」と言われます。部屋から食堂へ歩いていける。トイレにいける。洗面台で立って歯磨きができる。いつものふつうの生活が続くように機能訓練に力をいれています。春に向かつて体も気持ちも軽やかになって頂きたいとおもいます。



満開の桜の前でパチリ。花見が楽しみです。



ツーショット。素敵でしょ。甘い甘い大根おろしになるでしょう。



3月お料理クラブ。小豆餡とずんだ餡のおはぎを作りました。豆の皮をマメにむきました。



大根漬物を作りました。皮をむく人、切る人、重さを計る人、記録する人みんなで協同作業です。大根はご近所の方いただきました。ありがとうございました。

看護師さん 介護士さん 募集中!



灯光園では、看護・介護、正規職員、パート職員を募集しています。資格や働き方、給料についてはご相談ください。短い時間でもお受けします。

御前崎市御前崎35-37
社会福祉法人御前崎厚生会
特別養護老人ホーム 灯光園
TEL 0548-63-3729
担当 澤島

介護保険のこと、認知症のこと、高齢者のこと、老人ホームのことなど勉強しませんか。高齢社会に向かい、自分や家族のこと、地域のこと、社会のこと知ってみませんか。知識は力になります。きっとお役にたちます。グループでも、少人数でも構いません。灯光園はみなさんの高齢期の安心を届けます。



出前講座いたします



編集後記

梅、こぶし、モクレンつぎつぎと花が咲く季節です。春はいいですね。花粉がなければ…。
春の花はやっぱり「桜」でしょう。河津桜から染井吉野、しだれ桜、八重桜、楽しみです。散る桜もいいです。「花さそう風の庭の雪ならでふりゆくものはわが身なりけり」



— 訂正とお詫び —
みさき第81号4面の「ご寄附ありがとうございます」に「吉村権左エ門様」のお名前の表記は「吉村権財茂様」の誤りでした。確認が不十分でした。訂正しておわびします。

ボランティア活動 ～あいがたう～

灯光園

二月

- 山崎 みさと様
(お話し相手他)
- 大橋 利余子様
間瀬 久子様
(フルートと琴の演奏)

灯光園デイサービス

一月

- 川口 節子様
(絵手紙) 二回
- 清水 ソノ子様
(カラオケ支援) 二十二回
- 松下 肇様
(のこぎり演奏) 一回
- 二月
- 川口 節子様
(絵手紙) 一回
- 清水 ソノ子様
(カラオケ支援) 二十三回
- やまぶきの会松下けい子様他
(傘踊り) 一回